

地域とともに 豊かな学びを！ 県立学校開放講座

県立学校開放講座は、それぞれの県立学校がもつ優れた教育機能や施設を「身近で利用しやすい生涯学習の場」として積極的に地域へ開放し、県民の皆さまが生活に必要な知識や技能を修得したり、心豊かに生きるための教養を身につけたりするなど「学習の機会として活用」していただくものです。

県立榎の実特別支援学校 ～パラリンピック種目「ボッチャ」を体験しよう～

榎の実特別支援学校（渡邊 昭宏校長、生徒 164 人）は、平成 19 年に校名を改め、今年度は市原特別支援学校の学区の一部を新たに学区に加えました。「(100歳まで明るく元気に生きる)豊かな心と健康なからだを育み、もてる力を最大限に発揮できる児童生徒を育てる」ことを教育目標としています。

ボッチャはパラリンピック種目で、障害がある人もない人も共に楽しく取り組むことができるスポーツです。参加者から「またやりたいと思うくらい楽しかった」「ボッチャのことを知ることができてよかった」などの感想が寄せられ好評でした。



県立松戸向陽高等学校 ～親子でチャレンジ2022～

松戸向陽高等学校（荒井 俊郎校長、生徒 674 人）は、平成 23 年に創立された学校です。「向学・自立・共生」を校訓として「社会人としての基礎力を身につけ、真摯で意欲的に進路実現に取り組む生徒の育成」を目指しています。本校は、福祉教育における専門の実習施設を校内に備えた、千葉県における福祉教育の拠点校であり、県内唯一の福祉教養科を有しています。

本講座では、「科学実験」「書道体験」「福祉体験」の講座を開講しました。小学生を対象に、自由研究の参考になればと実施。本校の生徒も助手として参加し、参加者からは「とても楽しかった」「また参加したい」という感想をいただき好評でした。



科学体験



書道体験



福祉体験

【お問い合わせ先】教育振興部生涯学習課
学校・家庭・地域連携室 電話043-223-4167